

事務事業名		旧飯田測候所整備活用事業			会計	一般会計					
課等名		生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第1係	事業種別	政策	開始	19	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり								
	施策	63	地域資産の保存・継承								
目的	対象(誰・何を)	全市民			指標名及び単位			24年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	地域コミュニティが維持される。地域で活用できる方針を策定する。			対象指標	飯田市の人口(人)			103460		
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承されている地域資産の数				旧飯田測候所庁舎とその周辺(面積 m ²)			5500		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	旧測候所庁舎の利用回数			2	5	2	12			
	成果指標	活用方針の策定			1	1	0	0			
定性目標											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 旧飯田測候所の敷地(土地及び建物)を市が国から取得し活用する事業。 平成19年3月の関東地方審議会での審議を経て、平成19年10月に取得した。 旧庁舎は、飯田市にとって歴史的・文化的に貴重な財産であることから、国の登録有形文化財に申請し、24年8月に登録された。 平成23・24年度は、敷地一帯を隣接する東栄公園と一体化させた公園として整備した。 旧庁舎については、耐震診断結果に基づき改修を加え、環境学習の新たな拠点施設として利活用を図る。 敷地一帯は、旧飯田藩の馬場調練場があった場所である。かつてこの付近にあって別場所に移転されていた馬場調練場の門(通称:脇坂門)を再び敷地内に移設する。 旧飯田町の風情を残す仲の町～二本松～馬場町一帯を含めたエリアの文化的資産の保存・継承、活用を視野に入れて事業を進める。 										
	事業内容										
24年度事業内容	旧測候所跡地整備方針に基づき、旧測候所庁舎及び敷地を整備する。				名称			活動指標			
	<ol style="list-style-type: none"> 庁舎整備方法の決定 庁舎利活用の検討 不要建築物等の撤去 隣接する民地の取得 トイレ・四阿・駐車場・園路の整備 次期中活計画との調整 展示等のための資料調査 				<ol style="list-style-type: none"> 民地取得面積 施設整備 (1)トイレ (2)四阿 (3)駐車場整備面積 (4)園路延長 調査回数 			<ol style="list-style-type: none"> 4 A=396.94m² 5 (1)1棟 (2)1棟 (3)A=328m² (4)L=300m 7 2回 			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		114,778	92,751	60,409	54,025	(国)社会資本整備総合交付金(45/100) (起)合併特例(充当率95%) 24→25 繰越明許 32,291千円					
国庫支出金		47,311	41,535	27,000	24,022						
県支出金											
起債		62,600	48,200		27,800						
その他											
一般財源		4,867	3,016	33,409	2,203						
人件費計(千円)②		5,364		5,722							
正規職員所要時間		1,500		1,600							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		120,142	92,751	66,131	54,025						
事業内容・目標達成状況の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> 民有地を取得し、公園の主要部分の整備が進んだ。 第1庁舎の利活用について計画が決定した。 									
改革改善の考え方	①問題点	中心市街地における旧飯田測候所の位置づけを明確にし、市全体としての利活用について方向性を出す。特に、第1庁舎の利活用方針を検討し、それに即した改修整備を進める。									
	②改革提案	飯田の気象を観測してきたその歴史的経過を鑑み、飯田市の環境政策・学習を推進する拠点として整備する。									